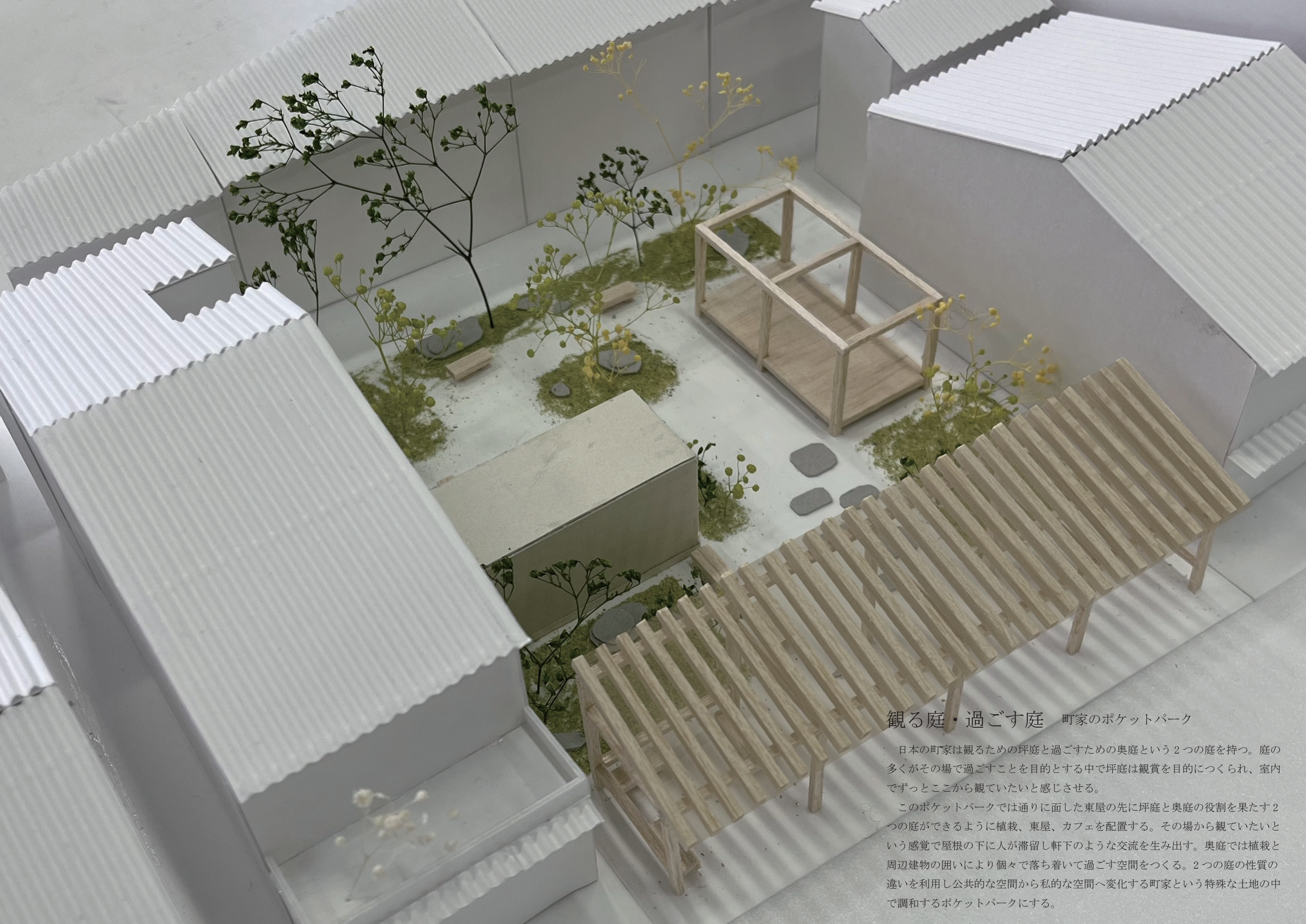




観る庭・過ごす庭 町家のポケットパーク

日本の町家は観るための坪庭と過ごすための奥庭という2つの庭を持つ。庭の多くがその場で過ごすことを目的とする中で坪庭は観賞を目的につくられ、室内でずっとここから観ていたいと感じさせる。

このポケットパークでは通りに面した東屋の先に坪庭と奥庭の役割を果たす2つの庭ができるように植栽、東屋、カフェを配置する。その場から観ていたいという感覚で屋根の下に人が滞留し軒下のような交流を生み出す。奥庭では植栽と周辺建物の囲いにより個々で落ち着いて過ごす空間をつくる。2つの庭の性質の違いを利用し公共的な空間から私的な空間へ変化する町家という特殊な土地の中で調和するポケットパークにする。